

# 4 山田忠孝、医師、科学者、バイオ医薬品業界のリーダー、76歳で死去

8月  
2021年

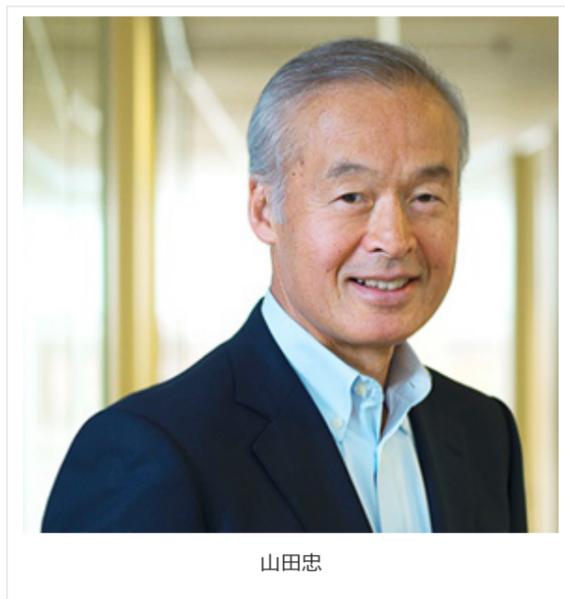
 ルーク・ティーマーマン /  1 /  全て

バイオ医薬品業界のリーダーとなり、バイオテクノロジー起業家の尊敬されるアドバイザーとなった著名な医師・科学者である山田忠孝は、8月4日の朝に亡くなりました。彼は76歳でした。

山田さんはシアトルの自宅で運動中に心臓発作で亡くなりました、と息子の高尾さんは言いました。

「彼は人々を助けるために何かをした特別な人でした。それが彼のノーススターだった」と息子は言った。

山田は、科学企業のいくつかの側面（学界、産業界、慈善活動）での経験を持つ珍しいリーダーでした。彼は、GSKのR&Dの会長、ビル&メリンダゲイツ財団の90億ドルのグローバルヘルスプログラムの上級バイオ医薬品部長、そして武田薬品の最高医療科学責任者として、キャリアの後半で注目を集める役割で最もよく知られていました。



山田忠

これらの仕事は、山田がカリフォルニア大学ロサンゼルス校、そしてミシガン大学で胃腸病学の教授を専門とする医師科学者としての初期の地位を確立した後にもたらされました。彼は、製薬業界に転向した頃の1994年に、全米医学アカデミーの仲間から選出されました。

過去25年間、山田は続く一連のことを成し遂げました。彼は、ロタウイルスや帯状疱疹、その他の感染症と闘うためにGSKのワクチン事業を立ち上げました。彼はさらに、デング熱やノロウイルスのワクチンなど、武田薬品のワクチンに投資しました。彼は、武田を地域の製薬会社から世界の一流の製薬研究開発企業に変える手助けをし、クローン病と潰瘍性大腸炎の大ヒット製品であるベドリズマブ（Entyvio）の重要なチャンピオンを務めました。

最近では、小企業の顧問として、ペンシルベニア大学の長年の友人であり同僚であるジム・ウィルソンや、ニュージャージー州に本拠を置くファトム・ファーマシューティカルズの開発者であるフローラム・パークとともに、フィラデルフィアを拠点とする遺伝子治療会社PassageBioの立ち上げを支援しました。胃腸薬。

Timmermanレポートで詳細なバイオテクノロジーの報道を入手してください。

個別サブスクリプション

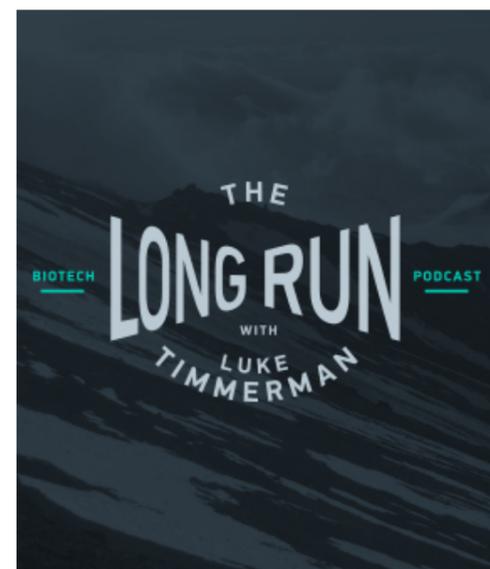
グループサブスクリプション

または：アカウントにサインインします

あなたのアカウント

[ログイン](#)

長期ポッドキャスト



後援

**ThermoFisher**  
SCIENTIFIC

 Answerthink

[登る](#) / [話し中](#) / [だいたい](#) / [コミュニティ](#) / [COVID-19（新型コロナウイルス感染症）](#) / [コンタクト](#) / [申し込む](#)

「彼は人生の具現化でした」と、2015年に山田が去ったときに引き継いだ武田のR&Dの社長であるアンディ・プランプは言いました。よく食べました。文字通り毎日運動しました。」

山田はビジネスリーダーとして、「本当に、本当に頭が良かった。とても鋭い。非常に経験豊富です」とPlump氏は述べています。「彼はタフでした。彼はビジョンを持っていて、そのビジョンを恥ずかしがらず、自分が信じていることを本当に推進していました。」

「私は心が痛む」と、シアトルのAccelerator Life SciencePartnersのCEOであるThongLeは、7年前に山田を取締役に採用したと述べた。「それは彼の時間ではありませんでした。彼はまだたくさんの素晴らしいことをしていました...どんなに複雑な状況であっても、彼はこぶに着き、何をやる必要があるかを知っていました。彼は、医療の必要性和、新しい治療法の開発に伴うすべてのビジネスおよびテクノロジーの課題を理解するという独自の組み合わせを持った数少ない人物の1人です。」

山田が取締役会会長を務めていた遺伝子治療会社であるフィラデルフィアを拠点とするパッセージバイオのCEOであるブルースゴールドスミスは悲しみに沈んだ。

「彼は初めてのCEOとして私に大きな信頼を寄せました。彼はいつも私が独立して働き、独立して会社を設立するために必要なサポートをくれましたが、それは彼が私に考えるべき批判的なコメントを与えないという意味ではありません...彼が人に投資することを決めたら...私は大量を見ました彼からのコミットメントの。いつものように不確実性や質問があったとき、彼は私たちがそれを理解できるように常に時間を取っていました。」

山田の人生の旅は日本で始まりました。彼は第二次世界大戦が終わる直前の1945年6月5日に東京で生まれました。彼は少年として米国に移り、マサチューセッツ州アンドーバーのフィリップスアカデミーに通った後、スタンフォード大学で歴史を専攻しました。

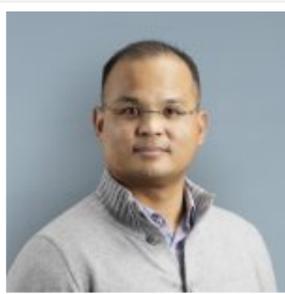
ニューヨーク大学で医学の学位を取得した後、バージニア州リッチモンドでインターンシップと研修を行い、その後、米国陸軍感染症研究所で感染症を専門とする専攻として3年間勤務しました。彼は次の20年間を学術的な消化器病専門医として過ごし、UCLAで始まり、ミシガン大学で米国を代表する学部の一つを建設しました。

彼は1994年にSmithKlineBeechamで非常勤取締役から始めて、業界を通じて患者を支援する新しい機会を模索しました。彼はすぐに仕事を進め、最終的には、Glaxo Wellcomeとの大規模な合併に続いて、2000年代初頭にGSKで業界の主要なR&Dエンジンの一つを監督しました。

山田は、2006年にビル&メリンダゲイツ財団のグローバルヘルスプログラムを引き継ぐ新しい機会を見ました。世界最大の民間慈善活動は、ウォーレンバフェットからの現金で一杯になり、世界の舞台で優勢であり、結核、マラリア、HIVとの闘いに関する世界の健康の優先事項に影響を与えました。彼は業界に戻る前に5年間滞りました。



武田薬品工業R&D社長アンディ・プランプ



Accelerator Life Science Partners、CEO、Thong Le

## 読者が言っていること

Timmerman is always ahead of the game.

Robert T. Nelsen, managing director, ARCH Venture Partners



Biotech social media is easy to obtain, but is a firehose of data, information, and speculation. The savvy professional needs less noise and more actionable signal. Luke Timmerman finds and writes about that signal.

Atul Butte, professor, UCSF



Luke's ability to blend the implications of science with the exigencies of business creates an idiosyncratic and insightful read.

Vicki Sato, board chair, Denali Therapeutics



[紹介文をもっと見る](#)

## ツイッター

@ldtimmermanによる ツイート ⓘ


**ルーク・ティマーマン** @ldtimmerman  
 おめでとう@ ArtKrieg! #ボストンマラソン  
<https://twitter.com/ArtKrieg/status/1447647586651885578>

♡ [→] 2021年10月12日


**ルーク・ティマーマン** @ldtimmerman  
 先住民のゲノムの配列決定。耳を傾ける@ KeoluFoxの遺伝学の知識を拡大し、信頼関係の構築についての話。ロングランポッドキャスト。timmermanreport.com/2021/09/sequen...


**先住民のゲノム...**  
 ロングランの今...  
 timmermanrepor...

♡ [→] 2021年10月12日

[埋め込む](#)

[Twitterで見る](#)

Follow @ldtimmerman

当時、武田薬品は、武田薬品工業、武田薬品とアボットのTAP Pharmaceuticalsジョイントベンチャー、マサチューセッツ州ケンブリッジの Millennium Pharmaceuticalsチーム、ヨーロッパのNycomedの4つの組織に細分化されていました。「彼は活動を統合するプロセス、かなり挑戦的なプロセスを開始しました」とプランプは言いました。

山田氏は当時の武田薬品の長谷川康夫CEOと緊密に協力して、広範囲にわたる事業を統合し、より統制のとれた意思決定プロセスを実施し、科学におけるゲームを強化したとプランプ氏は語った。

長谷川が辞任し、クリストフ・ウェバーが200年の歴史を持つ会社の最初の外国人CEOとして入社したとき、当時約70歳だった山田は、ウェバーが次の10年間一緒に働くことができる新しいR&Dチーフを連れてきてください。「タチは彼ら（長谷川とウェバー）の間を橋渡しし、研究開発における文化的変化の炎に火をつけた」とプランプ氏は語った。

「彼のように多くの異なる能力をリードできる人はほとんどいません。学界、最高レベルのNGOの世界、そして研究開発の最高レベルの製薬業界で2回です」とPlump氏は述べています。

山田のキャリアの最後の章は旋風でした。彼は、Phathom Pharmaceuticals、Passage Bio、およびAthiraPharmaで取締役会の議長を務めました。彼は、Frazier Healthcare Partnersとの関係もあり、他の多くの小規模企業の役員を務めました。

フレイジャーの関係は、彼が分野を超えて多くの起業家を助けるための道を提供しました。そこでの仕事は、ゲイツ財団での彼の時代にまでさかのぼります。彼は武田での紛争を避けるためにフレイジャーを離れ、2015年にベンチャーパートナーとして戻ってきました。

それは、スタートアップコミュニティ全体のより広いキャンパスにペイントし、彼が情熱を持っていると感じた人々やプロジェクトを選ぶ機会でした。

武田を離れるという発表の翌日、ルはたまたま事前に予定されていた会議を開いた。彼は入って来て、まっすぐに要点にたどり着きました。「ねえ、私は発表を見ました、そして私は100人があなたに同じことを尋ねると確信しています。しかし、私はあなたの助けが必要です」とルは言いました。

彼は山田に彼の取締役会に加わるように頼んだ。

「彼はいつものように笑った」とルは回想した。

それから明白な答えが来ました。

山田はルにこう言った。「でも、私はあなたを信じています。もちろん、私はあなたを助けるつもりです。」

山田が開いたドアの数と、彼の献身的な助言が加速器のために物事を前進させるのにどれだけ役立ったかを知って、ルは物語を語り直すのに少し困惑しました。「私はメンターを失ったように感じ、父親を失ったように感じます」とルは言いました。

たとえば、山田氏は、今年初めにアクセラレーターがロデオセラピューティクスをアムジェンに売却することに成功した舞台裏で重要な役割を果たしました。(TRカバレッジ、2021年3月)。

内にも生かしていることがわかった。Timmermanの message は、彼が発火を支援したポートフォリオ企業の2つです。

「夕子は博学者です。私の知る限り、彼は1日22時間、週7日働いていました」とトッパー氏は述べています。「彼がその地域を見ているとき、彼はその地域で広く読んでいました。彼は基礎科学から臨床的関連性まですべてを知っているでしょう。彼は彼のキャリア全体で医学を生き、呼吸しました。彼は広さと深さのある人でした。彼は患者と患者の家族に思いやりをもたらしました。」

様式的には、山田は落ち着いていた。彼は穏やかな態度と穏やかな話し方に出くわすことができました。言葉を慎重に選び、簡潔に話す男。

「夕子についての私の好きなことの1つは、彼が常に非常に率直だったことです。彼は礼儀正しくそして礼儀正しくそれをするでしょう。彼が何かについてあなたに同意しなかった場合、彼は同意しない可能性があり、それは市民的なままです」とトッパーは言いました。

AcceleratorのLeは、同じ直接性について話しました。山田は注意深く耳を傾け、情報を吸収しました。彼はまた愚か者に苦しむことはありません。「彼はBSをカットし、最も重要なことは何でも正しく行うことができました」とLeは言いました。「これは、多くの情報を備えた今日の世界で非常に重要なスキルです。何に焦点を当てるべきかを知ることは、成功と失敗の違いを意味する可能性があります。」

Passage BioのGoldsmithは、彼が特定の敏捷性に打たれたと言いました。

「あなたは彼とこれらの大きな戦略的で包括的なビジョンの会話をするのができ、それからこれらの本当に詳細な運用上の会話をするのができます。彼は前後に行くことができました、そしてそれは彼が前後に行くことを可能にした彼の経験でした。どこに行けばいいのか、どうやってそこにたどり着くのかについて話し合うことができました」とゴールドスミス氏は語った。

すべての博学者が個人的な暖かさで知られているわけではありませんが、山田を知っている人は彼もそれを放射したと言いました。

ル氏は、会議を開くとき、山田は机の後ろにある堂々とした椅子からではなく、彼のそばのソファに座るように誘うことがよくあると言った。

ゴールドスミス氏によると、山田氏はかつて、会社の上級者として、チームの誰もが遅れて現れて上司を苛立たせる可能性があることを悪く感じないように、会議に意図的に1~2分遅れて現れるのは良いことだと言った。それは微妙でしたが、うまくいきました、とゴールドスミスは言いました。

ふっくらは、日本に旅行してホテルで目を覚まし、時差ぼけをして、午前3時、午前4時、午前5時などの奇妙な時間にジムに向かったことを思い出します。いつも、彼は山田がすでにそこに彼のトレーニングをしているのを見てください。山田氏は30年以上にわたり、体力のルーチンから2日間休んだと語った。



ジェイミー・トッパー、マネージングパートナー、フレイジャーヘルスケアパートナーズ



パッセージバイオCEO、ブルースゴールドスミス

「あなたがしななければならないことは時々ストレスになるからです。」

山田からのもう一つの重要なアドバイスは次のとおりです。あなたはそれが何であるかを見つけ、彼らがそれを提供できるように彼らを最もよく配置する必要があります。」

二人は武田での移行期間中に多くの夕食会を開き、山田は家族について話し合い、紹介することを楽しんだ。ゴールドスミスも同じことに気づきました。どんなに集中的で激しい会議であっても、山田は最後に人生、家族、何が新しく面白いかについて話す時間がありました。

ふっくらは最後の話を共有しました。かつて、渋滞に巻き込まれ、山田との打ち合わせに30分遅れて走っていたとき、到着時にひどく謝罪した。

しつけと落ち着きの写真である山田は、肩をすくめて心配しないように言った。山田は、目の前に4紙の新聞を開いて、さまざまな情報源や視点から情報を吸収して過ごしていた。

ふっくらと注意した。常に学び、常に理解し、常に異なる視点を統合しようとしている科学者の幹部がいました。問題の核心に到達し、人間の健康を促進することを追求している男性。